

送付6-20 陳情審査部分抜粋：

令和6年5月24日 議会運営委員会（未定稿）

○小野委員長 次に、②送付6-20、千代田区議会本会議の映像をYouTubeで配信するよう求める陳情書の審査に入ります。

陳情書の朗読は省略させていただきますがよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○小野委員長 はい。委員の皆さまからご意見をいただきたいと思います。

いかがでしょうか。現在、ライブ配信され、かつ、アーカイブでも本会議の映像を見ることができるとはすけれども、それをYouTubeでもという陳情ですね。はい、米田議員。

○米田議員 YouTubeでとあるんですけども、今、委員長がおっしゃったように、ネット配信もしている。アーカイブでもやっている。さっきと同じようになりますけども、23区その他、YouTubeで配信しているところがありますか。

○石綿次長 こちらは、他区の調査結果というのを手元に持っています。少し古くなってしまうんですが、今年の8月現在というところでございます。今回陳情にございました本会議でございますけれども、こちらですね、インターネットで中継をしている区、こちら東京都は入っていませんが、23区中、生中継が16区実施しているところでございます。念のため、録画での放映というのは、すべての区で実施しているような状況というようにまとめてございます。それから、映像配信の環境でございます。こちらが、すべての区で録画配信はしているということは、今お伝えしているとおりでございますが、ここで、YouTubeを活用している区が、23区中4区のみという状況でございます。その他の区に関しましては、ホームページ上でということで、私どもの区と同じ配信の仕方をしているという状況でございます。

○小野委員長 はい、春山委員。

○春山委員 追加で分かる範囲でお答えいただきたいんですけども、この4区というのは、YouTube配信、録画の配信はYouTubeのみを使っているのでしょうか。それとも、同じようにホームページから、と並行しているのでしょうか。

○石綿次長 繰り返しになりますが、今年の8月現在ということでご了承いただきたいんですけども、この調査によりますと、YouTubeのみで配信している区が1区、YouTubeとホームページを併用している区が3区あるような結果となっています。

○小野委員長 はい。他はいかがでしょうか。こちらについては、ご意見ここまででよろしいでしょうか。はい、白川委員。

○白川委員 トレンドを考えると、結局ホームページで流すというのと、YouTubeで流すということに違いはないわけです。違いがあるとすれば、YouTubeは使用頻度が非常に高く、何か事件なりイベントなりがあったときに、再生回数が圧倒的に多くなるという点ですので、その点だけ考慮すれば、どう考えてもYouTubeで流さないという明確な理由は、私は見つけられませんね。この要望が出てきた限りは、前向きに検討すべき課題だろうと思います。今後は、YouTubeのチャンネルを持つというのは、必須であって、それを生中継するということは、前向きに対処すべき課題ととらえるべきかと思います。

○小野委員長 はい。他ご意見、はい、牛尾委員。

○牛尾委員 私としても、こういうご希望が来ているのであればやってもいいと。対象が広がるのであればやってもいいと思いますけども、これをやるにあたっての課題とか、手続きに大きな問題があるというのであれば考えなければなりません、その辺は。

送付6-20 陳情審査部分抜粋：

令和6年5月24日 議会運営委員会（未定稿）

○石綿次長 課題については、今のところまだ私どもこれから検討という状況であるかなと思ってございまして、YouTube一般的には広告を掲載するということも前提になるでしょうが、これは恐らく選択できるということになると思いますので、広告を掲載せずに放映をするということも可能かなと思っておりますが、あとは私見になるかもしれませんが、YouTubeの掲載によって関連動画が下にリンクで出てくるといったようなことが、いいのか悪いのかというところは考え方次第かなと思ってございます。

○小野委員長 はい、副委員長。

○大坂副委員長 YouTubeというのは、スタンダード的な形で使われているというところで、そこに動画を載せることについて、そこにあまり抵抗感を持たなくていいのかなどというのは正直感じています。一方で、千代田区の方も、区としても、YouTubeチャンネルをちゃんと持っていて、その中で、定期的に、教育委員会の会議の様子も配信されているという状況を見ると、議会の本会議はなんでここでダメなのというイメージはどうしても持ってしまうので、それは前向きにやっていただければいいのかなどと思っています。

○小野委員長 はい。他はいかがですか。はい、白川委員。

○白川委員 YouTubeと、それ以外の違いをあえて考えると、コメントが付くことかなということだと思います。コメント欄を付けないという選択肢もありますが、できるだけ声を拾うという点では、拾うべき。ただ、そこで政敵といいますか、支持者同士がぶつかったり、ののしりあったりということは、ないではないので、やっぱり慎重に進めるべき部分ではあるので、コメントをまずは付けないというところから始めていって、実験的に開放してみるとか、そういう工夫は必要なのかなと思います。

○小野委員長 はい、米田委員。

○米田委員 関連するんですけど、先に先行されているところがあるので、そこにしっかり聞いていただいて、課題とか。あるいは評価とか。一回聞かせていただければなと私は思います。

○小野委員長 はい。ありがとうございます。他はよろしいでしょうか。はい。色々ご意見いただきまして、前向きに検討した方がいいんじゃないかとのご意見が多かったのかなと思います。今回については、取り扱いについてはいかがいたしましょう。前向きに検討するというご意見の中で、一旦、皆さまに陳情の取り扱いについてお伺いしたいと思いますがいかがでしょう。はい、副委員長。

○大坂副委員長 基本的には、否定的な意見はありませんでしたので、技術的なところとか、他の区の状況も勘案して、事務局として前向きに進めていただくというところで、陳情者にお返しすればいいのかなと思います。

○小野委員長 はい。ありがとうございます。それでは、送付6-20につきましては、千代田区議会本会議の映像をYouTubeで配信するよう求める陳情書について、本日の議事録をもって陳情者にお返しし、審査を終了するというところでよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○小野委員長 はい。よろしいでしょうか。はい。ありがとうございます。